

資料4

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会
共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点
に関する作業部会
(第10期-第1回)R1.5.20

第10期 共同利用・共同研究拠点及び 国際共同利用・共同研究拠点に関する作業部会 における主な調査審議事項(案)

○ 第4期中期目標期間(2022年度～2028年度)に向けた拠点制度の改善方策の検討

(論点例)

- ・ 拠点間や他の研究所(大学共同利用機関を含む)等との連携による「ネットワーク化」を図るための改善方策【本日意見交換を実施】

→「ネットワーク化」の検討の観点

- ・ 共同利用・共同研究による異分野融合等の促進
- ・ 学生や若手研究者の交流の活性化による人材育成機能の強化
- ・ スケールメリットを生かした柔軟な資源配分
- ・ 施設・設備の効率的な整備・運用
- ・ 共同利用に際しての手続の一元化等
- ・ 個々の拠点では実現できない研究基盤の構築 等

- ・ 国際共同利用・共同研究拠点制度の改善方策
(例:国際共同利用・共同研究拠点の活動状況を踏まえた改善 等)
- ・ 認定基準の改善・明確化
(例:大学における研究施設の取扱い、地域や産業界との連携、人材育成 等)
- ・ 新規認定の規模・分野の考え方

○ 第3期中期目標期間における期末評価の実施方針の検討

(論点例)

- ・ 中間評価において課題となった事項についての検討
(評価プロセス、評価の観点、評価区分ごとに一定の割合を設ける相対評価の実施 等)
- ・ 拠点活動の活性化を促すための評価及び予算との配分への反映の在り方